

【解答】基礎編

① 主語述語

主語が何か、述語が何であるかを把握するのは、文章の最後「書かれています」ものが述語であり、その述語に対して「なにが」(だ)「なにが」(だ)「なにが」(だ)と、言葉を発しながら解へへ解へへ進めたいです。

【1】一文節の主語と述語 4つのプーシ

- | | |
|------------------|--------------------|
| ① 述語 (は) りました | 主語 (けん) たくんは |
| ② 述語 (わ) っています | 主語 (ゆみ) さんは |
| ③ 述語 (お) りました | 主語 (おとう) さんは |
| ④ 述語 (な) いていました | 主語 (おか) あさんは |
| ⑤ 述語 (ね) いていました | 主語 (おんな) のこは |
| ⑥ 述語 (は) れるでしょう | 主語 (あ) すは |
| ⑦ 述語 (ふ) っています | 主語 (あ) めが |
| ⑧ 述語 (お) やすみです | 主語 (が) っこうは |
| ⑨ 述語 (リ) ーダーですか | 主語 (だ) れが |
| ⑩ 述語 (し) ましたか | 主語 (だ) れが |
| ⑪ 述語 (い) きましたか | 主語 (だ) れが |
| ⑫ 述語 (ふ) さわしい | 主語 (き) みこそ |
| ⑬ 述語 (さ) いだいです | 主語 (シロ) ナガスクジラは |
| ⑭ 述語 (ぼ) くです | 主語 (は) んにんは |
| ⑮ 述語 (お) っしゃいました | 主語 (せ) んせい(は) |
| ⑯ 述語 (ま) いります | 主語 (母) は |
| ⑰ 述語 (め) しあがります | 主語 (こ) うちょうせんせい(は) |
| ⑱ 述語 (う) かがいます | 主語 (わ) たしの母が |
| ⑳ 述語 (こ) うらになります | 主語 (あ) なたのお父さんは |
| 述語 (ふ) りました | 主語 (ゆ) きが |

【2】三文節の主語と述語のグループ

文節が三つの文になれます。「〜が」「〜を」「〜は」は主語になれます。「〜は」「〜は」は主語にならずに「〜は」「〜は」は述語になります。

- | | |
|------------------|--------------|
| ① 述語 (しょうがくせうです) | 主語 (おひつは) |
| ② 述語 (たべます) | 主語 (ぼくは) |
| ③ 述語 (あそびました) | 主語 (けんたくんは) |
| ④ 述語 (しました) | 主語 (たろうくんは) |
| ⑤ 述語 (こわしました) | 主語 (あなたは、) |
| ⑥ 述語 (みがきます) | 主語 (ぼくたちは) |
| ⑦ 述語 (します) | 主語 (おかあさんは) |
| ⑧ 述語 (じょうずです) | 主語 (おとうさんは) |
| ⑨ 述語 (はなします) | 主語 (おじいさんは) |
| ⑩ 述語 (もっています) | 主語 (おじいさんは) |
| ⑪ 述語 (のぼりました) | 主語 (かぞくみんなが) |
| ⑫ 述語 (ちこくしました) | 主語 (けんたくんは) |
| ⑬ 述語 (すきです) | 主語 (ぼくのかぞへは) |
| ⑭ 述語 (だいすきです) | 主語 (だれもが) |
| ⑮ 述語 (のるつもりです) | 主語 (わたしたちは) |
| ⑯ 述語 (あつまっています) | 主語 (おとしよりが) |
| ⑰ 述語 (たすけました) | 主語 (ぼくたちが) |
| ⑱ 述語 (あつまりました) | 主語 (小学生は) |
| ⑲ 述語 (おちる) | 主語 (かぞへは) |
| ⑳ 述語 (のりました) | 主語 (ぼくたちは) |

【3】主語と述語をつなげて文章を書く 9〜12ページ

※ 主語と述語をつなげたものだけを書きなさい。

- ① 北海道は広いです。
- ② 住む人々は急にしています。
- ③ 香川県は地域です。
- ④ 濃尾平野はあります。
- ⑤ 東京都は首都です。
- ⑥ 大阪府は都道府県です。
- ⑦ お米は主食です。

- ① ぼくたちは行きました。
- ② せいとが受験をします。
- ③ おかさんは言います。
- ④ タンポポはせいとへいきます。
- ⑤ ヒマワリは、種をまきます。
- ⑥ わたしたちはたべています。
- ⑦ チーターは走ることができます。
- ⑧ 日本アルプスは三つをわします。
- ⑨ マツヤスギはもっています。
- ⑩ 津軽半島はあります。
- ⑪ 信濃川は、流れています。
- ⑫ 富士山はゆうめいです。
- ⑬ している人は少ない。
- ⑭ 日本は国です。
- ⑮ 都道府県があります。
- ⑯ 雨が、やみました。
- ⑰ むねがあつくならります。

- ⑧ コスモスはさかせます。
- ⑨ 赤ちゃんはオタマジャクシです。
- ⑩ クジラやイルカは魚のなかまではありません。
- ⑪ こんちゅうのからだはわかれています。
- ⑫ 空気はかろくなりません。
- ⑬ すべてのどうぶつはとらなければなりません。
- ⑭ カブトムシやチョウはなかまです。
- ⑮ ムカデはなかまではありません。
- ⑯ 空気はとりいれられます。
- ⑰ むかしのひとはうけました。
- ⑱ 水はこおりになります。
- ⑲ ヌスはかりをします。
- ⑳ るみさんは勉強をしています。

【4】主語と述語をつなげて文章を書く 12～15ページ

- ⑱ 雪がふりました。
- ⑲ ほくはおみやげがきました。
- ⑳ るみさんは、むかえてしまった。

【5】主語と述語をつなげて文章を書く 15～19ページ

これまででは主語が文頭に書かれているものが大半でしたが、「 は主語の前に修飾語が書かれているパターンを中々習得していきませう。少し難いかもしれませんが、 も は述語から書いて、「 が(だ)が(の)順で書くといいよ」。

- ① 風が 吹いてきました。
- ② 子どもは おこられる。
- ③ 果物が 送られてきた。
- ④ おばけが 住んでいるらしい。
- ⑤ お母さんは 言った。
- ⑥ 犬が やって来た。
- ⑦ 車は、 休んだ。
- ⑧ 宿題は、 多い。
- ⑨ 先生が 入院してしまった。
- ⑩ ケーキ屋さんは いそがしくなる。
- ⑪ おみそ汁は 存在だ。
- ⑫ ピエロが 配っていた。
- ⑬ 携帯電話は、 かわいい。
- ⑭ 泣くことは はずかしいことではない。
- ⑮ 太郎くんは 落ちこんでいる。
- ⑯ 遠足は なってしまった。
- ⑰ 考えることは つかれる。
- ⑱ 数学は ちがっている。
- ⑲ 探検隊は 入っていった。
- ⑳ 運動会は おこなわれます。

② 助詞

すべて解答例です。他の助詞でも構いません。

【1】主語と述語の助詞 20～22ページ

※読み易くするために、主語のあとにはすべて読点が入っていますが、入ってなくても問題ありません。

- ① けんたは、走りました。
- ② ゆみは、笑っています。
- ③ おとうさんは、怒りました。
- ④ おかあさんは、泣いていました。
- ⑤ おんなのこは、寝ていました。
- ⑥ あすは、はれるでしょう。
- ⑦ 雨が、ふっています。
- ⑧ 学校は、おやすみです。
- ⑨ だれが、リーダーですか。
- ⑩ だれが、しましたか。
- ⑪ だれが、行きましたか。
- ⑫ ぼくたちは、成功させる。
- ⑬ シロナガスクジラは、最大です。
- ⑭ 犯人は、ぼくです。
- ⑮ 先生は、おっしゃいました。
- ⑯ 母は、まいます。
- ⑰ 校長先生は、めしあがります。
- ⑱ わたしの母が、うかがいます。
- ⑲ あなたの父さんは、ごらんになります。
- ⑳ 雪が、ふりました。

【2】三文節の助詞 23～26ページ

解答例

- ① おとうとは、小学生に なります。
- ② ぼくは、カシーライスが だいすきです。
- ③ けんたくんは、ともだちと あそびました。
- ④ たろうくんは、おにいさんと キャッチボールを しました。
- ⑤ あなたは、たいせつな時計を こわしました。

- ⑥ ぼくたちは、はを みがきます。
- ⑦ おかあさんは、せんたくを します。
- ⑧ おとうさんは、テニスが じょうずです。
- ⑨ おにいさんは、英語を はなします。
- ⑩ おじいさんは、車を もっています。
- ⑪ かぞくみんなが、富士山に のぼった。
- ⑫ けんたくんは、学校に 遅刻しました。
- ⑬ ぼくのかぞくは、旅行が すきです。
- ⑭ だれもが、サンタクロースが だいすきです。
- ⑮ みんなは、電車に のるつもりです。
- ⑯ おとしよりが、公園に あつまっています。
- ⑰ ぼくたちが、こまっているひとを たすけましょう。
- ⑱ 小学生は、うんどうじょうに あつまりました。
- ⑲ さるも、木から おちる。

【3】三文節以上の助詞 26～29ページ

解答例

- ① 北海道は、日本でもっともめんせきが 広いです。
- ② 雪のおおい地方は、やねのかたむきを 急にしています。
- ③ 香川県は雨が すくない地域です。
- ④ 濃尾平野は、愛知県と岐阜県の間 に あります。
- ⑤ 東京都は、日本の 首都です。
- ⑥ 大阪府は、日本で 二番目に ちいさな都道府県です。
- ⑦ お米は、日本人にとって たいせつな 主食です。
- ⑧ コスモスは、秋に花を さかせます。
- ⑨ カエルの赤ちゃんは、オタマジャクシです。
- ⑩ クジラやイルカは、たまごをうむ 魚のなかまではありません。
- ⑪ 昆虫のからだは、三つに わかれています。
- ⑫ くうきは、あたたかくなると かるくなります。
- ⑬ すべてのどうぶつは、いきていくために食物を とらなければなりません。
- ⑭ カブトムシやチョウは、昆虫の なかまです。
- ⑮ 名前のわからない昆虫は、すかんで しらべましょう。
- ⑯ ムカデは、昆虫のなかまでは ありません。
- ⑰ くうきは、はいてとらわれれます。

接続詞問題のポイントとは前後の文章の論理関係の把握です。そのため、文章を正確に読み分けなければなりません。多くの問題集では接続詞問題は記号形式となっており、しかし、実際の文章をよめる際には記号はあてず、全文記述形式となっており、

- ⑱ むかしのひやは、ほしなまえを つけました。
- ⑲ 水は、ひやこつとくつと、こおりに なります。
- ⑳ ライオンは、たいてい、メスが かりをします。
- ㉑ るみななは、じぶんの部屋で、勉強をします。

【4】三文節以上の助詞

解答例

- ① わたしはきのう、学校を やめました。
- ② ぼくはちいさころ、琵琶湖に およそいらしました。
- ③ るみさんは、じぶんの部屋で、もくもくと、なまけうをこつとします。
- ④ さくばん、ゆきが こつとと、ふります。
- ⑤ さるへんは、せつめう、かぞへと、遊園地に いきます。
- ⑥ きみたちは来年のいまころ、フランスに すすんでいきます。
- ⑦ スーザンは三年まえに、日本に きました。
- ⑧ あなたは来月、九歳に なります。
- ⑨ きみとぼくは、いつまでも、なかのよいと、ただちです。
- ⑩ テストのけっかはあす、あきらかに なります。
- ⑪ みきさんのお母さんは、ロンドンに、かimotoを ころします。
- ⑫ ホッキョクグマは、氷が すくなくなって、こつとります。
- ⑬ けんたくんは十年前、アメリカに すすんでいました。
- ⑭ きみたちは六年生で、修学旅行に いきます。
- ⑮ ぼくはしんゆうと、北海道へ、りょこうに 行きました。
- ⑯ 妹のだいごうぶひは、カリーライスは、妹の だいごうぶひです。
別解・・・カリーライスは、妹の だいごうぶひです。
- ⑰ ソウは、はなが、ながいです。
- ⑱ あなたは、日本で、もつとも広い、みずみです。
- ⑲ あなたは、わたしが、かいた、てがみを、よみましたか。
- ⑳ おはあちゃんも、ぼくも、お肉が、とても、すきです。

③ 接続詞

【1】「だから・しかし・なぜなら・たとえば・つまり」

34～40ページ 解答例

- ① ぼくは かぜを ひきました。だから、学校を 休みました。
- ② ぼくは かぜを ひきました。しかし、学校へ 行きました。
- ③ トマトは 肉を 食べます。つまり、肉食動物です。
- ④ ぼくは いっしょけんめい 勉強を しました。別解・・・トマトは 肉を 食べます。なぜなら、肉食動物だからです。だから、テストで 百点をとりました。

- ⑤ お母さんは いつも おこっています。だから、顔に しわが うかびます。
- ⑥ けんたくんは 学校で いつも おこられています。だから、あまり 学校が すきでは ありません。
- ⑦ アフリカには たくさんの 動物が います。たとえば、チーターやハイエナや ヒョウなどです。
- ⑧ 学校に タクシーで行きましよう。なぜなら、このままでは 学校に 遅刻してしまふからです。
- ⑨ 火は とても べんりです。しかし、つかいかたを まちがえると ひじょうに きげんです。
- ⑩ あなたは じゅうにかよいはじめました。しかし、いつも 寝ていたため テストの点数は あがりませんでした。
- ⑪ 日本は 資源の じゅうくちです。だから、日本人は どりょくをしなければ ならないのです。
- ⑫ かれは かたで いきをしています。なぜなら、えきから 全速力で 走ってきたからです。
- ⑬ みんな 遠足に 行くのを 楽しみに していました。しかし、残念ながら 当日は 雨でした。
- ⑭ 都道府県には 海に めんして いないところが あります。たとえば、山梨県です。
- ⑮ 「週末は かぜを ひいていたのですね。だから(つまり)、宿題が できなかつたと言いたいのですか。」
- ⑯ 病気の時は 消化に よいものを たべましよう。たとえば、おかゆです。
- ⑰ ゆきこさんが 口を きいてくれない。なぜなら、きのう、大ゲンカをし

- たからいです。
- ⑱ ゆきこさんが、口をきいてくれない。だから、きょうは、わたしの方からあやまって、みようと、おもう。
- ⑲ 姉は、ほんとうに、がんばって、勉強を、していた。だが、テストではよい点数が、とれなかった。よつだ。
- ⑳ アブラナ科の、植物は、食べられるものが、多いです。たとえば、キャベツや、ハクサイ、コマツナなど、です。
- 私の、仲良しの、るみさんは、勉強を、していないのに、いつも、テストで、百点を、とる。つまり、頭が、良いのだ。
- 別解・・・私の、仲良しの、るみさんは、勉強を、していないのに、いつも、テストで、百点を、とる。なぜなら、頭が、良いからだ。

【2】「のりえ・そつどはなぐ・そわじも・じいじが」

40～44ページ解答例

- ① るみさんは、よろこんで、います。 そつどはなぐ、おじいじのるので、
- ② このレストランは、ねだんが、安い。 そのつえ、食事が、おいしい。
- ③ デザートは、アイスクリームに、しますか。 そわじも、プリンに、しますか。
- ④ お父さんと、駅で、まちあわせを、していた。とじろが、お父さんは、時間、なっても、こなかった。
- ⑤ 外は、雪が、ふって、きました。そのつえ、風も、しよく、ふいて、きたようです。
- ⑥ みなさんが、勉強を、するのは、あたまを、よく、するため、ではない。そつどはなぐ、じろよく、する、という、ことを、みに、つける、ため、だ。
- ⑦ 東京大学へ、行く、つが、それ、とも、京都大学へ、行く、つが、まよって、います。
- ⑧ ホテルで、のんだ、ジュースには、「フレッシュジュース」と書かれて、あった。とじろが、じっさいは、パックの、ジュース、だったらしい。
- ⑨ 母は、姉に、いやみを、言っている、わけではない。そつどはなぐ、姉の、つを、しんばい、している、のだ。
- ⑩ たかしくんは、スポーツが、万能だ。そのつえ、頭も、よい。
- ⑪ おかあさんは、おこっている、ではありません。そつどはなぐ、あきれて、います。

- ⑫ この 症状は かせですか。それとも、インフルエンザですか。
- ⑬ 名探偵が とっじょうしました。ところが、事件はかいけつ しませんでした。
- ⑭ ほくは 背が 高い。そのうえ、体重もめるので カシになるじよを すすめらねん。
- ⑮ ほくは 毎日勉強をしている。ところが、テストの点数は いつも 悪い。
- ⑯ シャチは からだが 大きく、頭もよい。そのうえ、集団で せいかつ をしてゐるから 敵がいない。

【3】一文を二文に分ける 45～48ページ 解答例

じやまでの接続詞問題と違って、すてじ書かたでゐる一文を二文に分けて、接続詞をいれて、問題ひよ。

- ① 雨が ふっていた。だから、かさを ちめて かけました。
- ② 音楽会は たらくしてました。しかし、わたしは がまんして むじりまで きねました。
- ③ 明日は 車で行きましようか。それとも、電車で 行きましようか。
- ④ かねは 暗いところが 苦手です。そのうえ(だから)、一人で 行くとなると きつと いやがるでしよう。
- ⑤ 定規を お持ち下さい。あるいは(または)、ものねじを お持ち下さい。
- ⑥ ほくは サッカーが すきだ。そのうえ、野球も すきだ。
- ⑦ 日本では しゃんしゃん「すめ」を 青色としよう。しかし、しゃんしゃんは みぶの色だ。
- ⑧ 勉強は いやなものだ。だが、それでも がんばらなくては いけないものだ。
- ⑨ 桃太郎が おにを たいじしました。すると、村に 平和が もどりました。
- ⑩ キリンは 植物だけでなく 動物も たべる。つまり、ちよひです。別解・・・キリンは 植物を たべる。そのうえ、動物まで たべる ちよひです。
- ⑪ シタは 植物の なかまです。ところが、花はさかず たねも できませぬ。
- ⑫ 別解・・・シタは 植物の なかまですが 花はさかせません。また、たねも ちよひです。
- ⑬ スギは 木材になります。なぜなら、まっすべに そだつかうからです。

- ① 電車が おへねて しまつた (ため) (た。め。)
- ② ほくが しゅくだいを しなうで ゲームばかりを してゐた (ため) (た。め。)
- ③ お父さんと お母さんが とても なかよくな (じや。)
- ④ きよねん じつに じつに (じき。)
- ⑤ べんきゆうは かかぬす まちぢぢぢ (じや。)
- ⑥ せつじつに (じ。)
- ⑦ 人に あつたら 「じつは」と あらうきを ぬ (じや。)
- ⑧ じつだけを たべて 生かして (じじい) (じ。)
- ⑨ ちきゅうで もとも 梁 (じい) (じ。)
- ⑩ 別解・・・ 海を 一メートルほど もへた (じい) (じ。)
- ⑪ まわりの 色に 合わせて からの 色を かねる (じや。)
- ⑫ とても せまうえに 人が たくさん すんでゐる (じい) (じ。)
- ⑬ 人に 話す (じ。)
- ⑭ どうして べんきゆうを まいぢぢ がんばるじぢが できなうか。
- ⑮ セバスチャンが アメリカに もどつて しまつ (時) (時) (じ。)
- ⑯ はる、なつ、あき、ふゆ といつた 四季 (じ。)
- ⑰ 海の上で あたまを 出す (じ。)

【2】ニマの指示語

- ① 電車が おへねて しまつた (ため) (た。め。)
- ② ほくが しゅくだいを しなうで ゲームばかりを してゐた (ため) (た。め。)
- ③ お父さんと お母さんが とても なかよくな (じや。)
- ④ きよねん じつに じつに (じき。)
- ⑤ べんきゆうは かかぬす まちぢぢぢ (じや。)
- ⑥ せつじつに (じ。)
- ⑦ 人に あつたら 「じつは」と あらうきを ぬ (じや。)
- ⑧ じつだけを たべて 生かして (じじい) (じ。)
- ⑨ ちきゅうで もとも 梁 (じい) (じ。)
- ⑩ 別解・・・ 海を 一メートルほど もへた (じい) (じ。)
- ⑪ まわりの 色に 合わせて からの 色を かねる (じや。)
- ⑫ とても せまうえに 人が たくさん すんでゐる (じい) (じ。)
- ⑬ 人に 話す (じ。)
- ⑭ どうして べんきゆうを まいぢぢ がんばるじぢが できなうか。
- ⑮ セバスチャンが アメリカに もどつて しまつ (時) (時) (じ。)
- ⑯ はる、なつ、あき、ふゆ といつた 四季 (じ。)
- ⑰ 海の上で あたまを 出す (じ。)

- ① わたしが着ている洋服
- ② 大きな校舎
- ③ ケンタ

【4】少し長い文章の指示語 64～67ページ

- ① しゅくだい
- ② さかあがり
- ③ ふじさん
- ④ だいふくもち
- ⑤ カニクリームパンケーキ
- ⑥ ハンバーグのつくりかた
- ⑦ カレーライス
- ⑧ パンダのテント
- ⑨ きよねんのたんじょうび
- ⑩ ソウ
- ⑪ けしきがきれいなじいさん
- ⑫ くじくじ
- ⑬ とつきようスカイツリー
- ⑭ ゴールキーパー
- ⑮ コーヒー
- ⑯ おしるいの中
- ⑰ リンゴ
- ⑱ 水
- ⑲ でんわボックスの中
- ⑳ としきみチーム
- ㉑ まごころのちいさなこぶし

【3】語尾から自分で考える 61～63ページ

- ①7 道におちいった 何か
- ①8 からだがだめなのじが きたら (J.J.)
- ①9 右手に びょういんが見えなくなった (J.J.)
- ②0 カラスが おそわられたら (J.J.)

- ①7 九州へ行くには、飛行機か新幹線になります。
- ①8 昨日は 母と2人きりで映画を観に行った。
- ①9 じかにルースになってはいけません。
- ②0 京都へ行ったら、紅葉を見たり、おいしい食事をしたSする予定だ。

【4】 接続詞の間違い I 800～860ページ

解答例

- ① わたしは 算数のテストで満点をとった。 **なんとかかかわりず**、母はまったくほめてくれなかった。
- ② そふは、天ぷらが大好きだ。 **また**、とうふもすきだ。
- ③ 外は雨だ。 **だから**、かさを持っていくじ。
- ④ 外は嵐だ。 **だが**、家の中は静かだ。
- ⑤ 来週が待ち遠しい。 **なつなみの夏休だからだ**。
- ⑥ 母が **タイヒヒト**をした。 **その** 見事にやせた。 **だが**、そのあとすべに太ってしまった。
- ⑦ 大きな動物が、人間に近づいてもっとも危険であるとはかきらない。 **なつなみの人間の命を最もうばっているのは、小さな蚊であるからだ。なんとかかかわりず**、多くの人はそのことを知らない。
- ⑧ 図書館は勉強をするところだ。 **したがって**、声を出したり、飲み食いしたりすることはやめまじい。
- ⑨ 人間は自然なしには生きていくことができない。 **むしろ**、「保全」という考え方が生まれた。
- ⑩ お腹が減っていないときは、 **シヤクイン**はじウを恐れて、接触することを避けます。 **むしろ**、お腹が減ると、 **プンイド**と呼ばれる集団で襲います。
- ⑪ フニのかむ力は動物界随一です。 **むしろ**、口を開ける力は弱く、輪ゴムで押さえれば開かなくなります。
- ⑫ 昔は、日本のいたるところにメダカはいました。 **むしろ**、現在では「絶滅危惧種」といって、絶滅が危惧されています。
- ⑬ 香川県は雨があまりふらない。 **むしろ**、人々はお米のかわりにうどんを食べるようになった。
- ⑭ 神戸市はむかしから外国と貿易をしてきました。 **だから**、ステーキやパン、

- 中華料理などのお店が早くからたくさんできました。 **foreign** 異国情緒あふれる街になっていきます。
- ⑮ 水は大切にしなければなりません。 **freshwater** 地球上の水のほとんどは海水ですから。
- ⑯ シベリアアトムの死の原因の1つは他のアトムに殺されることだ。 **kill** **murder** に殺されることもある。
- ⑰ 達人というのは、武術を極めた人につけられる呼称だ。 **but** 実際に達人が戦ったのを見たことがある人はいない。
- ⑱ わたしの将来の夢はノーベル賞をとることです。 **award** 日本でもっともノーベル賞受賞者をだしている京都大学に行くことにしました。
- ⑲ 札幌市の冬は寒い。 **winter** 家の中にはセントラルヒーティングがあるため、東京よりも暖かい。
- ⑳ 福岡市は、都会であるにもかかわらず、すぐ近くに海や山といった自然も近い。 **despite** 人気がある。